



上の句に素早く「ハイッ」

新年の始まりは百人一首大会

豊橋前芝中

冬休み明けの7日、豊橋市前芝中学校(谷中緑校長)の体育館で百人一首大会が行われ、全校生徒や教員ら約160人が熱戦を繰り広げた。37年前から続く行事。(飯塚雪)

古文の学習の一環として、また日本文化に対する興味を引き出すために行っている。大会前には、校区住民による尺八や箏の和楽器演奏も行われ、生徒らは正月気分浸った。大会は学年混合で7、9人の20グループに分かれて札を取り合った。前半戦での獲得枚数に応じて人員変更を行い、実質の決勝戦となったグループでは、体面を争った。体で札を取りに行ったり、静かに狙いを定めたりして生徒らはそれぞれの戦い方で札を積み上げていった。1年の牧平遥香さん(13)は父親との遊びの中で自然に覚えられた歌を次々と出し、見事38枚で1位を獲得。「たぐさんの先輩の中で1位になれたのはうれし」と競技中の真剣な表情とは違う、笑顔を見せた。札を取り合う生徒ら

豊橋市前芝中学校で



全校百人一首大会 1年牧平さん優勝

豊橋・前芝中

札を取り合った。

豊橋市前芝中学校で7日、百人一首大会があり、全校生徒百四十三人が競った。三十七年続く恒例行事。教員が交代で読み手を務め、二十グループに分かれた生徒たちが「歌は十首しか覚えていなかったけれど、集中して札を見ていたので。来年も勝てるようにもっと歌を覚えたい」と話した。

谷中緑校長は「全校で争えるのは小さい学校ならでは。日本の伝統文化に触れ、学年の垣根を越えて交流してほしい」と語った。

グループに分かれ、札を取り合う生徒＝豊橋市前芝町の前芝中で